

ミクロ経済学II

第七回

上條良夫

目的

- 微分の概念をおおよそ理解すること
- 微分を用いて、独占企業の利潤最大化行動を求められるようになること。
- 限界費用曲線と限界収入曲線を描けるようになること。
- 独占の損失を計算できるようになること

例題1

- ダイヤモンド生産を独占している企業を考える。
- この企業はダイヤモンド一単位あたり2の費用で生産することが可能である。
- ダイヤモンドの市場需要曲線は
 - $p = 10 - q$
 - p はダイヤモンド価格
 - q はダイヤモンド需要量

- 企業の費用関数は

$$C(q) = 2q$$

- 企業の利潤(関数)は、

$$\pi = (10 - q) q - 2q$$

収入(売り上げ)
価格 × 生産量

生産費用

問い

- グラフに、市場需要曲線と企業の**限界費用曲線**を描け。
- グラフに**限界収入曲線**を描け。
- 独占企業が決定する**生産量と価格**を図示せよ。

例題2

- ある新薬の製造・販売を独占している企業を考える。
- この企業は q 単位の新薬を製造するのに q^2 の費用がかかる。
- 新薬の市場需要曲線は
 - $p = 10 - q$
 - p は新薬の価格
 - q は新薬の需要量

- 企業の費用関数は

$$C(q) = q^2$$

- 企業の利潤(関数)は、

$$\pi = (10 - q) q - q^2$$

収入(売り上げ)
価格 × 生産量

生産費用

問い

- グラフに、市場需要曲線と企業の**限界費用曲線**を描け。
- グラフに**限界収入曲線**を描け。
- 独占企業が決定する**生産量と価格**を図示せよ。